100億宣言

株式会社新興貿易（野菜・水産物卸売業）

主力商品（日本のおいしさを世界へ）

○本社所在地：東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル10F
○事業概要：農畜産物・水産物卸売業
○常時使用する従業員：6名（2025年6月現在）
○現在の売上高： 33.5億円（2024年9月期）
○法人番号：5010401109590
○Web：http://shinko-corp.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役 蘇 勇藝

日本の“おいしさ”を世界へ広げる

私たち新興貿易は、日本の誇る水産品をより多くの国々へ届けることで、北海道をはじめとした地域の活性化に貢献していきたいと思います。安全・安心・健康、そして“本物の美味しさ”を世界中の食卓へ。今後は新工場の建設を通じて生産力を強化し、雇用を生み、地域社会とともに成長していきます。100億円という目標は、数字の達成だけでなく、持続可能な未来を築くための一歩です。

売上高100億円実現の目標と課題

【目標】2032年までに100億円の売上達成

	2024年実績	2032年計画
輸入食材の販売（海外→日本）	9.38億	28.00億
国産食材の輸出販売（日本→海外）	17.76億	70.00億
その他	6.35億	6.35億
合計	33.50億	104.35億

【課題】

① 製造加工体制の構築
安定供給可能な内製化と加工能力の強化が必要。

② 人材の採用と育成
人材の確保と中核社員の継続的な育成が不可欠。

③ 高付加価値商品の開発と新規顧客開拓
競争力を高める独自商品開発と海外含む販路の多様化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

①北海道拠点の戦略的活用
原料の調達から加工・出荷までを一貫体制で担う北海道工場を中核に、品質・供給・コスト競争力を強化。

②海外販路の多角化と深化
中国依存から脱却し、東南アジア、北米、欧州といった成長市場への展開を加速。

③デジタル×グローバル経営への進化
IoTやDXを活用し、トレーサビリティや品質管理を高度化。業務の効率化とグローバルでの信用獲得を同時に進めます。

実施体制

① 社内体制の確立
専門部署を設置、迅速な意思決定と現場連携体制を強化。

② 地域企業との連携（漁業者等）
漁業者や加工業者と連携、地域一体での競争力向上を図る。

③ 販売ネットワークの構築
海外バイヤーや商社との関係を強化、輸出販路を多層的に展開。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社新興貿易（野菜・水産物卸売業）

自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

① 外需獲得
当社は「日本の海の恵みを、世界中の食卓へ届ける」をミッションに掲げ、これまでアジア市場を中心に冷凍水産品の輸出を推進してきました。今後は北海道産ホタテをはじめとする高品質な国産水産物の付加価値をさらに高め、加工・凍結・パッケージ機能を強化した製品を、東南アジア・欧州・北米市場へ展開します。グローバル市場のニーズに応えることで外貨を獲得し、輸出売上の持続的な拡大を図るとともに、日本の水産業の価値向上に貢献してまいります。

② 雇用促進（えりも町）
当社が新たに建設する北海道・えりも町の加工拠点は、地元の原材料を活用した水産加工・凍結・包装工程の集約型施設です。本施設の稼働により、従来外注していた工程の内製化が進み、年間を通じて安定した操業が可能となります。これにより、えりも町内での新規雇用を創出するとともに、若者や女性、高齢者など多様な人材が活躍できる地域雇用の受け皿を形成します。町の人口減少対策にも貢献し、持続可能な地域社会づくりを目指します。

③ 地域経済牽引（北海道日高地区）
えりも町を拠点とする今回の設備投資は、北海道日高地区全体の水産業・製造業・物流業を巻き込んだ広域的な経済波及効果を生み出します。地元漁業者との連携強化により原料供給の安定化を図るとともに、地域内での加工・出荷体制を整備することで、関連産業との取引が増加し、地域全体の経済活性化に寄与します。さらに、高品質な北海道ブランドを世界に発信することで、道外からの注目も集め、観光や投資の促進にもつなげてまいります。